

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	介護計画は利用者・ご家族に「生活に対する意向」を尋ねるなどして利用者毎に立てているが、個別性・具体性が不十分である。	当該利用者が「真にしたいこと」を探り、利用者毎に介護計画に入れる。	①ご本人、ご家族に「生活に対する意向」としての意見を聴取するだけでなく、利用者の「真にしたいこと」を軸にした意向を「話し合う」ようにする。	6ヶ月
2	10	毎月利用者毎に「お便り」を出してご本人の様子や行事を知らせているが「職員紹介」「献立紹介」は出来ていない。	利用者を支える両輪である職員とご家族に、より繋がりが出来るように、ご家族にお伝えする内容を改良する。	①毎月出しているお便りに「職員紹介」も入れるようにする。 ②「献立紹介」も同様(「こんな手作りのおいしそうな料理を出してくれるところならケアも安心」と入居を決めてくれたご家族もいるので)。	6ヶ月
3	35	夜間を含めた火災・地震の訓練(通報、消火、避難)は実施しているが風水害想定が出来ていないのと、地域の人の協力体制が不十分である。	風水害想定の実施及び地域の人の協力体制を構築する。	①風水害想定の実施している他事業所等の事例を参考にして訓練を実施する。 ②訓練に地域の人が協力してくれる体制を作れるよう運営推進会議等にて相談をする(協力していただいたことはあるが継続的な体制となっていない)。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。